

北小物語2018



平成30年 9月11日
平戸市立田平北小学校
学校便りNo. (41)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 『い顔』『い声』『い心』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第41話：「New ALT Sophie：Welcome to TABIRA KITA primary school！」の巻 ☆☆☆



新しいALT：ソフィー先生との英語学習スタート！

田平北小ニュースタッフをご紹介します。9月3日（月）から、ジェームズ先生に代わるALTとして「Waldron Sophie Jane（ウォルドロン・ソフィー）」先生が着任されました。オーストラリア出身の明るくて爽やかな先生です。7日（金）は、英語専科の作江先生と一緒に、4・5・6年生の外国語活動・英語授業に入り、北っ子たちとイングリッシュ・コミュニケーションを楽しみました。母国であるオーストラリアの風景や動物の紹介、自己紹介などに子どもたちも興味津々。アルファベットカードを使って、自分の名前を表記する活動では、子ども一人一人に寄り添い、「GOOD!」「WONDERFUL!」と褒めながら、にっこりマークを描いてあげていました。すでに子どもたちも、その優しい人柄に惹きこまれていました。国際化は急速に進行しています。ソフィー先生との学びが子どもの未来を輝かせます！



観察・発見！小さな命誕生の瞬間！



水イカの赤ちゃん
が生まれたよ！



先週は、学校の玄関入口がとてもにぎやかでした。市南部地区にある鮎川町在住の漁師である山川さんが、子どもたちにぜひ、見せてほしいと、水イカの卵をもってきてくださったのです。明日にでも生まれそうな水イカの卵です。水槽の中には、クラゲやヒトデもいて、まるでミニ水族館のようでもありました。翌日、4～5匹の黒い目をした小さな小さな命が誕生していました。生まれたばかりですが、上手に水槽の中を泳ぎ回っていました。その翌日には、イカの赤ちゃんが、30匹ぐらいに増えていました。小さな命の誕生とその可愛らしい姿に北っ子たちも興味津々。毎日、登校しては水槽の中を覗き込み、休み時間にも下校の際にも熱心な観察と小さな命への声援が続きました。

山川さんによると、このイカの卵は、山からとった柴を海中に沈め、産卵場所を確保して育てた貴重なものだということです。イカの卵から、尊い命の誕生や海中汚染の現状を学ぶことができた北っ子です。